

関西国際空港における輸入貨物動線の簡素化の要望

社団法人 関西経済連合会

世界および国内での国際拠点空港間の競争が激化するなか、航空貨物における空港の利用価値を高める上で、荷主が強く求める「トータルコスト削減」「リードタイム短縮」「輸送品質の確保」の課題に応えることは至上命題である。

今般、関西国際空港株式会社において、輸入貨物動線の簡素化として、フォワーダーが海外でビルドアップしたULD（パレット）を航空機から自社の施設へ直接搬入することを認めたことは、国際航空貨物輸送に大きく依存する関西経済界として高く評価する。

今回の簡素化措置により、関西国際空港における輸入貨物の取り扱いが、「より早く」、「より安全に」、「より安い」ものとなり、荷主のニーズに応えうる体制が整うことになる。航空貨物を利用する荷主にとって、関西国際空港が真に使い勝手の良い空港になることに向けた改革の大きな一歩といえるものである。

さらには、関西国際空港が、わが国唯一の本格的な24時間運用可能空港というメリットを最大限に発揮しつつ、航空貨物において国際競争力ある空港として発展することにもつながる措置である。

ついては、今回の簡素化措置が、早期にかつスムーズに実現されるよう、関西国際空港株式会社、関係の航空会社や上屋会社におかれては特段の取り計らいをお願いしたい。

また、関西国際空港株式会社においては、今回の措置を手始めに、施設利用料金の抜本的改定、貨物地区全体の運用方法の見直しなど、荷主のニーズやサービス向上に一層つながるような施策の実施を引き続きお願いしたい。

以上